

心身歯科学分野の研究紹介

| | |
|-----|---|
| 著者 | 梶原 和美, 塚田 澄代 |
| 雑誌名 | 鹿児島大学歯学部紀要 |
| 巻 | 33 |
| ページ | 67-68 |
| 発行年 | 2013 |
| URL | http://hdl.handle.net/10232/19613 |

心身歯科学分野の研究紹介

梶原 和美・塚田 澄代

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 健康科学専攻
社会・行動医学講座 心身歯科学分野

当分野では、歯科医療現場への応用を通して人間理解をめざす心理学研究と医の哲学と医療倫理の基礎となる人間の本質に関する哲学的研究を20世紀の実存と本質の関係を新しい直接的経験論によって明らかにしたガブリエル・マルセルのフランス哲学を中心に研究しています。

構成メンバー：准教授（塚田澄代，梶原和美）の2名。

研究紹介

哲学研究

- ガブリエル・マルセルと他の哲学者とのテーマ別比較
 - ・ガブリエル・マルセルとドゥルーズとの他者への誠実と自己への誠実に関する比較研究
 - ・マルセルとハイデッガーとの実存と存在との関係についての比較研究
 - ・マルセル，カント，サルトルにおける倫理観（普遍的倫理は存在するか否かについての見解）の比較
 - ・ガブリエル・マルセルに影響を及ぼしたベルクソンとの比較：直接知に至る方法の比較研究：ベルクソンにおける直観とガブリエル・マルセルにおける第2の反省。テーマ別研究：持続と広がり[延長]（時間と空間）の比較研究。ベルクソンにおける共感と愛，ガブリエル・マルセルにおける相互主観性の比較。
 - ・マルセルとデカルトの懐疑に対する見解の相違
- マルセル思想のテーマ別解釈
 - ・マルセルの死生観と他の死生観の比較
 - ・マルセルにおける自然への愛
 - ・マルセルと日本思想
- マルセル思想の医の哲学・倫理への応用
 - ・安楽死の再検討

- ・マルセルの希望論の緩和ケアへの応用

心理学研究

- チーム医療における臨床心理士の役割に関する基礎的研究
 - ・CLP患者およびその保護者との関係性に潜在する心理的問題の明確化
 - ・遺伝カウンセリングにおける心理的援助のカテゴリー化
- 歯科治療を受ける患者の体験内容と治療に伴うその変容に関する実証的研究
 - ・外科矯正患者における顔の表象様式に関する研究
 - ・歯科矯正患者の体験プロセスに関する研究
- 歯科心身症に対する臨床心理学的介入方法の開発
 - ・顎関節症患者に対する心理療法の開発と検討
- 心理学的観点の歯学教育への導入
 - ・学生の「患者観」に関する探索的研究
 - ・非言語的コミュニケーションへの気づきを活性化させる授業方法の検討

共同研究中の分野

歯学系：口腔顎顔面外科学分野，予防歯科学分野

主な論文（2009～2011年）

1. Soutome S, Kajiwara K, Oho T. Combined use of self-efficacy scale for oral health behaviour and oral health questionnaire: A pilot study. Health Education Journal (in press).
2. Tsukada S, L'espérance chez G. Marcel peut-elle influencer nos contemporains dans leurs conceptions de la vie et de la mort ? (発行日未定, ASPLF (XXXIII^e Congrès de l'Association des Sociétés de Philosophie de Langue française) Venise 大会で発表)

- 表 2010; (原稿受理).
3. Tsukada S, Remise en question de l'euthanasie chez G. Marcel, L'UNIVERSEL ET LE DEVENIR DE L'HUMAIN, Actes du XXXII^e Congrès de l'Association des Sociétés de Philosophie de Langue Française (ASPLF), l'Association Tunisienne des Etudes Philosophiques et l'Institut Français de Cooperation en Tunisie Tunis (TUNISIE), 2010; 32: 331-334.
 4. Tsukada S, La paternité comme création, Présence de Gabriel Marcel, Paris, 2010; 19: 67-69.
 5. 五月女さき子, 梶原和美, 於保孝彦, 口腔保健行動に関する自己効力感測定尺度 (SEOH) の開発 - 信頼性と妥当性の検討 -, 日本口腔衛生学会誌, Vol.59, No.5, pp.544-552, 2009.
 6. Tsukada S, Fidelité à autrui et fidélité à soi-même chez Gabriel Marcel contre Deleuze, Le même et l'autre, Identité et différence, Actes du XXXI^e Congrès de l'Association des Sociétés de Philosophie de Langue française (ASPLF), Etvos Univ. Press, Budapest, 2009; 31: 523-527.
 7. 塚田澄代, ガブリエル・マルセルの希望の死生観と他の死生観との比較, VERBA 鹿児島大学言語文化論集, No.36, pp.143-152 (2012).
- 主な研究技術・研究機器・解析システム:
- ・動作解析 / ゼプリス超音波方式 3次元動作解析システム
 - ・テキスト分析 / IBM SPSS Text Analytics for Surveys, Word Miner
- 研究協力をお願いしたいテーマ:
- ・歯科心身症治療に有効な臨床心理学的介入に関する研究
各種心身症に特有な心理的問題 (認知の歪み, コミュニケーションパターン等) を明らかにしたいと考えています。
 - ・臨床教育におけるコミュニケーション能力開発に関する研究
歯科診療に求められるコミュニケーションの要件を, 臨床教育に携わっておられる先生方とともに検討したいと考えています。